

# 西紀っ子だより



〒669-2716

兵庫県丹波篠山市乗竹650

TEL：079-593-0024

FAX：079-593-0249

Email：el-nishiki@school.sasayama.jp



未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成～郷土を愛しこころ豊かにたくましく～

(文責：藤原典英)

## 卒業・修了おめでとうございます～この一年の、西紀っ子の成長～

春の足音が、西紀の里にも少しずつ近づいてきました。田畑には新芽が顔を出し、学校の周りにも色とりどりの花が咲き始めています。そのひとつひとつが、まるでこの一年間を一所懸命に生きた西紀っ子たちの姿と重なって見えます。

令和7年度が始まった4月、全校50名で新たなスタートを切りました。「在りたい自分を創っていく責任者」として、ひとりひとりが自分の一年間を歩み始めた日のことが、つい先日のことの様に感じられます。

この一年、子どもたちは本当によく挑戦し、よく学び、よく成長しました。

一学期は、まず「土台づくり」の時期でした。全校学習タイムでの話し合いや、田植え・自然学校・地域を通しての学習など、様々な体験を通して、「自分ごと」として学ぶことの意味を、子どもたちはその身をもって感じていきました。特に、五年生の自然学校では、「どうにもならないこと」に向き合いながら、仲間と共に折り合いをつけてチャレンジし続ける姿が印象的でした。あの竹野での五日間、五年生の子どもたちの大きな財産となったことは間違いありません。

二学期は、その土台の上に「自分という人間を建設していく」時期でした。運動会では、「かかわる・ささえる・あらかず」という三つの場を通して、子どもたちは心を育てました。勝ち負けを越えて互いを認め合い、支え合う姿に、運動会が「ある」のでも「する」のでもなく、「つくりあげる」ものであることを、子どもたち自身が証明してくれました。また、地域校外学習での「村が育てる学力」、発表参観日での「やり切ることの大切さ」、マラソン記録会での「走り切る自分を信じる」姿等々、それぞれの場面で、西紀っ子は確かな成長を見せてくれました。

そして三学期は「出し切る」学期となりました。N-Iグランプリでは、全校の前に立って自分を表現するという、勇気のあることに挑戦した子どもたちの姿がありました。表現するということは、生きることそのものにつながる、と改めて実感しました。始業式で「今を生き切ろう」と伝えた言葉を、子どもたちは自分たちの姿で答えてくれた様に思います。

この一年を通して感じるのは、西紀っ子の「優しさ」と「本気」が、確かに育ち、受け継がれていったということです。学校生活では、思いのすれ違いによる衝突があります。人と人がくらししていくのですから、当然のことです。しかし、そういった場を自分たちで乗り越えよう、解決しよう、成長しようといった様子が見られたのも事実です。その様に、日常の中にある小さくて大切な「バトンを繋げていく」場面が、この一年、何度も何度も見られました。それこそが、西紀っ子の文化であり、西紀という地域の教育力なのだと思っています。

さて、まもなく新しい年度が始まります。六年生は西紀小学校を巣立ち、新たなステージへと歩みを進めます。そして、在校生は、ひとつずつ学年が上がります。学年が上がるということは、単に数字が変わるということではありません。これまでの自分の上に、新しい自分を積み重ねていくということです。一年生を温かく迎えてくれた上学年の子どもたちが、かつての一年生にしてもらったことを次の一年生へと渡していく様に、西紀っ子の優しさとおまじのバトンは、来年度もまた確かに繋がれていくと信じています。

「ほんものはつづく つづけるとほんものになる」という言葉があります。この一年、子どもたちが積み重ねてきたひとつひとつの「がんばり貯金」は、きっと、これからの長い人生の中で、大切な財産として花開いていくことでしょう。

東井義雄先生は、「子どもは伸びようとしている」とおっしゃっています。この一年の西紀っ子の姿を見ていると、その言葉の意味を腹の底から実感します。子どもたちは、大人が思う以上に、在りたい自分に向かって真剣に生きています。その真剣さを、来年度も「信じて、待つ」姿勢で受け止めながら、共に歩いていきたいと考えています。

この一年、子どもたちを共に育ててくださった保護者の皆様、地域の皆様に、厚く御礼申し上げます。家庭・地域が学校と共に手を取り合い、西紀っ子の育ちを支え続けてくださったことに心より感謝しております。本当に有難う御座いました。

来年度も、どうか西紀っ子を励まし、西紀っ子に寄り添っていただけますよう、宜しくお願い致します。

## ◇ 「いじめアンケート」の集計結果について（三学期） ◇

毎年、学期ごとに「いじめ」に関するアンケートを実施しています。そして、担任は、その回答をもとに子ども一人一人と話をする機会を設け、回答の背後にある思いを見取る様に努めています。そういう取り組みを通して、いじめの未然防止や早期発見、迅速な対応に取り組んでいます。

結果を見ると、改めて真剣に向き合わなければならないことが見えてきました。一年間の締めくくりにあたり、結果を受け止め、来年度の学校生活と西紀っ子の成長に繋げていきます。

### 1 分析

#### (1) 「相談しない」がゼロ～信頼の土台は確かに育っている

「いじめられたとき、誰に相談するか」という設問に対して、全学年を通じて「相談しない」と答えた児童はゼロでした。担任への相談を選んだ児童が全学年で最も多く、加えて保護者・家族、友だちへの相談も多く見られました。一人で抱え込まずに周りを頼れる環境が、この一年でさらに根付いてきていると感じています。

#### (2) 身体的な関わりや言葉によるいじめが散見された

「しつこく言われた」「ぶつかられた」「倒されそうになった」など、身体的・言語的な関わりに関する申告が複数ありました。遊びの延長線上にある行為であっても、受け取る側が「嫌だ」と感じていれば、それはいじめです。相手の表情や気持ちの変化を察知する力が弱い面があることを、真摯に受け止めています。

#### (3) タブレットを通じたからかいが新たな課題として浮かんた

1学期・2学期には見られなかった、タブレットの画面上での書き込みによるからかいがみられました。文字が人の心に与える影響は、消したからといってなくなるものではありません。デジタル上の言葉も、身体的暴力や暴言と何ら変わらないということを、改めて全校で共有する必要があると考えています。

### 2 対策

#### (1) 自分の言動が他者に与える影響を考える指導の継続

言葉遣いや行動が相手にどのような影響を与えるかを、子ども自身が客観的に考えられる様に、学級・全体の場で継続して指導します。具体的な場面を設定し、子どもたちが自分たちで演じながら良い言動を考える取り組みも、各学級で検討します。

#### (2) 「やめて」と言える・受け止められる関係づくり

被害を受けた側が「やめて」と言えず、事態が良くない方向に向かうケースが見受けられました。自分の気持ちを言葉で伝える力と、相手の気持ちを受け止める力の両方を、日常の学級指導の中で継続して育てていきます。

#### (3) 情報モラル教育の充実

タブレット上での書き込みも「文字の暴力」であることを、子どもたちが実感として理解できるように、情報モラル教育の推進を更に進めます。「消せばよい」という安易な意識に対して、文字の持つ重みとリスクを、発達段階に応じて丁寧に伝えていきます。

「いじめは絶対に許さない」という姿勢を持ち続けながら、子どもたち一人一人が安心して自分を出せる学校・学級づくりに、来年度も全教職員で取り組んでいきます。学校と家庭と地域が手を取り合い、西紀っ子の育ちを共に支えていただけますよう、引き続き宜しくお願い致します。

## △ 4月の行事予定 ▽ ※学校のホームページからも行事予定が確認出来ます。変更分もそちらから確認出来ます。

8日(水)	対面式・始業式	全校終会11:35	20日(月)	人権朝会 聴力検査
9日(木)	入学式	全校終会11:35	21日(火)	交通安全教室
10日(金)	校外児童会	全校終会11:35	23日(木)	全国学力・学習状況調査(6年生) 市内学力調査(5年生)
13日(月)	全校朝会	全校終会11:35	24日(金)	参観日・学級懇談会
14日(火)	給食開始	全校終会12:35	27日(月)	サツマイモの苗さし
17日(金)	縦割り班顔合わせ		29日(水)	祝日・昭和の日



### ◎四月から時程が変わります◎

子どもの安全な登下校の確保や、下校後の家庭学習の時間の確保、教職員の研修や授業準備の時間の確保等を目的として、4月から時程を変更します。保護者の皆様・地域の皆様の御理解と御協力をお願い致します。

朝→毎日8:15スタート(モジュールや朝会、読み聞かせ等)※従来より10分程度早いです。

下校→月曜・木曜は全校集会14:45※変更無し

火曜・水曜は1・2年生終会14:30、3年生以上終会15:00※学童以外の1・2年生は上学年を待って一緒に下校

金曜は1~3年生終会14:30、4年生以上終会15:00※学童以外の1~3年生は上学年を待って一緒に下校

地域の皆様には、是非とも西紀っ子の登下校(特に下校時)に合わせて地域内に出ていただき、子どもたちの安全確保に御協力をお願い出来れば嬉しいです。新年度、改めてお知らせ致します。